

共立印刷株式会社 2018年3月期第2四半期決算説明会

2017年12月15日 KYORITSU PRINTING CO., LTD.

取締役管理本部長 佐藤 尚哉

01 事業の紹介

02 主力拠点の紹介

03 業績の分析

04 資金計画

05 市場の動向

代表取締役社長 倉持孝

06 経営戦略

07 業績予想

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



グループ概要

事業の紹介

共立印刷グループは「印刷」を軸に、得意分野を棲み分けた営業活動、材料の共同購入、製造・物流の連携、 技術・ノウハウ・原価管理・管理体制のシェアを通じて、グループ全体最適を追求しています。

1981/9

連結子会社化



製本営業

本社:東京都

板橋区

2013/4

連結子会社化



文庫本等の出版印刷

電子書籍の制作、取次

本社:東京都文京区

工場:埼玉県入間郡

共立印刷グループ

2011/9

連結子会社化

SIC

旅行情報誌の制作

本社:東京都新宿区

営業所:札幌·仙台·大阪

名古屋·静岡 福岡·広島 2015/8

連結子会社化



九州地区の総合印刷事業

本社:熊本県熊本市

工場:熊本県熊本市

営業所:大阪•福岡

宮崎



国内最大規模の印刷拠点

主力拠点の紹介

34台の輪転印刷機が24時間稼動する本庄第1・2工場、枚葉印刷→加工をワンストップで行う本庄第3工場、 DM専門工場、製本加工工場、物流倉庫を3キロ圏内に集約し、多様なご要望に安定した品質・短納期で対応します。

製本第1工場 輪転印刷工場 →現製本工場



輪転印刷工場 →現大口ット製本工場





国内最大規模の輪転印刷工場

本庄第1・2工場



製本第2工場 本庄工場近接の中綴製本工場



情報物流出力センター 個人情報関連の印刷加工・発送

本庄第3工場 ワンストップ製造の枚葉印刷工場





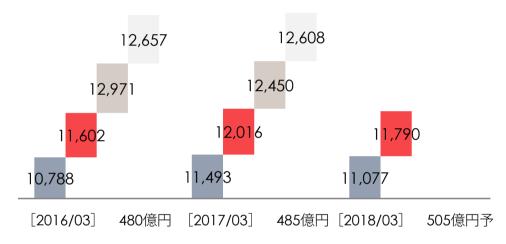
連結業績の推移

業績の分析

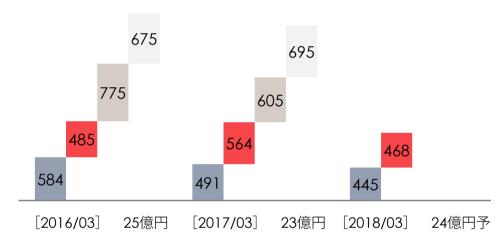
大手顧客の広告費削減による大幅減に対し、新規案件の拡販活動による奪還をめざしています。 新規獲得案件で実績を積み、下期以降のシェアアップ・収益化に繋げてまいります。



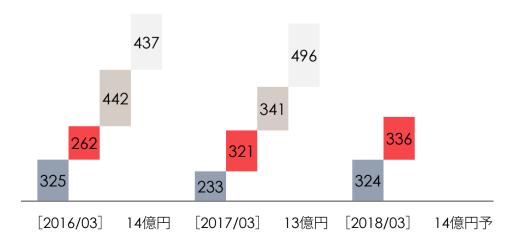
売上高(百万円)



営業利益(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



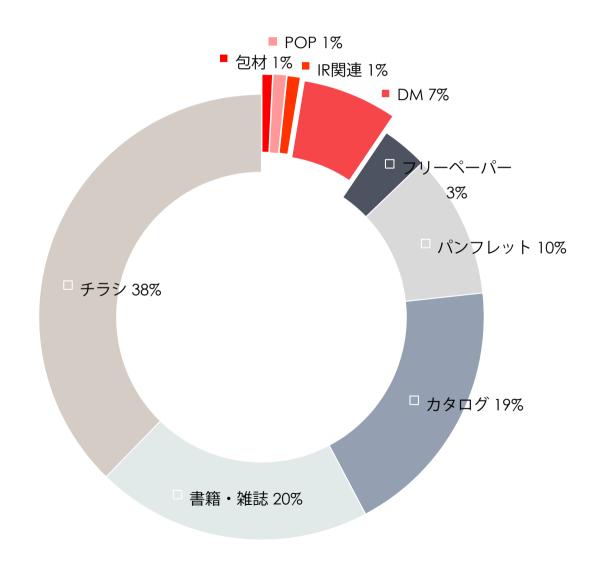
営業利益率(%)





媒体別 2Q連結売上高構成比

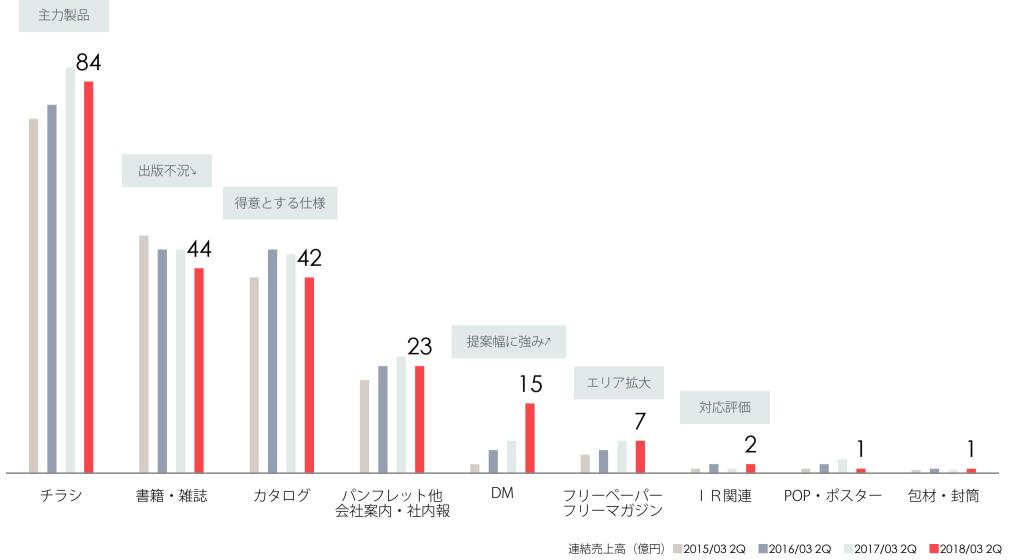
- ・主力事業90% 国内最大規模拠点での大ロット印刷:品質の高い安定的サービスを提供し、シェア拡大
- ・新事業 10% 多品種小ロット対応の付加価値印刷:対応設備の充実、管理体制の構築により新規拡販





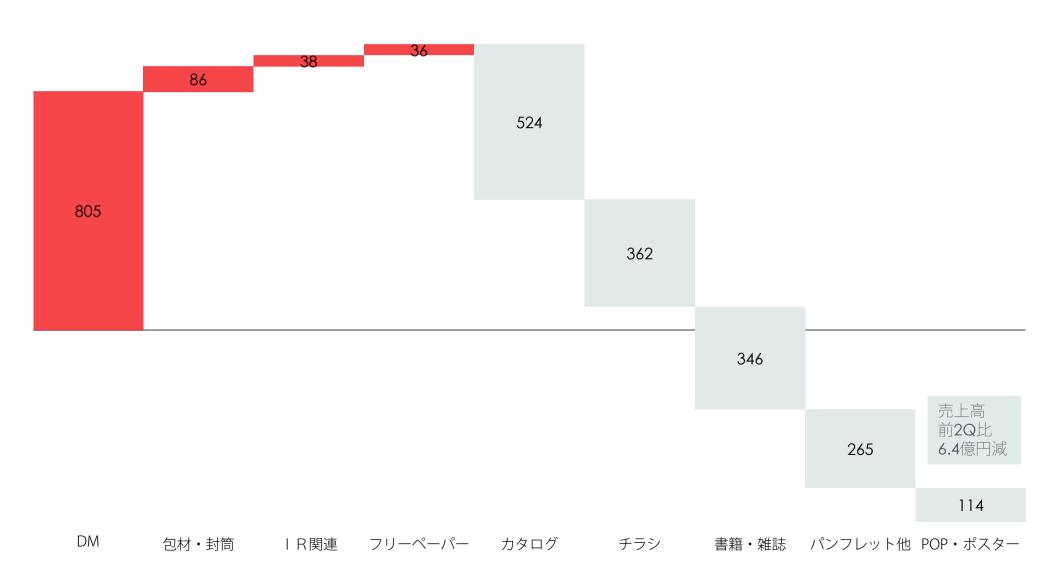
媒体別 2Q連結売上高 4 期比較

- ・チラシは主力製品・カタログは製本まで大ロット一貫生産の得意とする仕様・書籍雑誌は出版不況の影響継続
- ・DMは提案力強化、設備投資注力で好調 ・フリーペーパーはエリア拡大 ・IR関連は対応評価で堅調



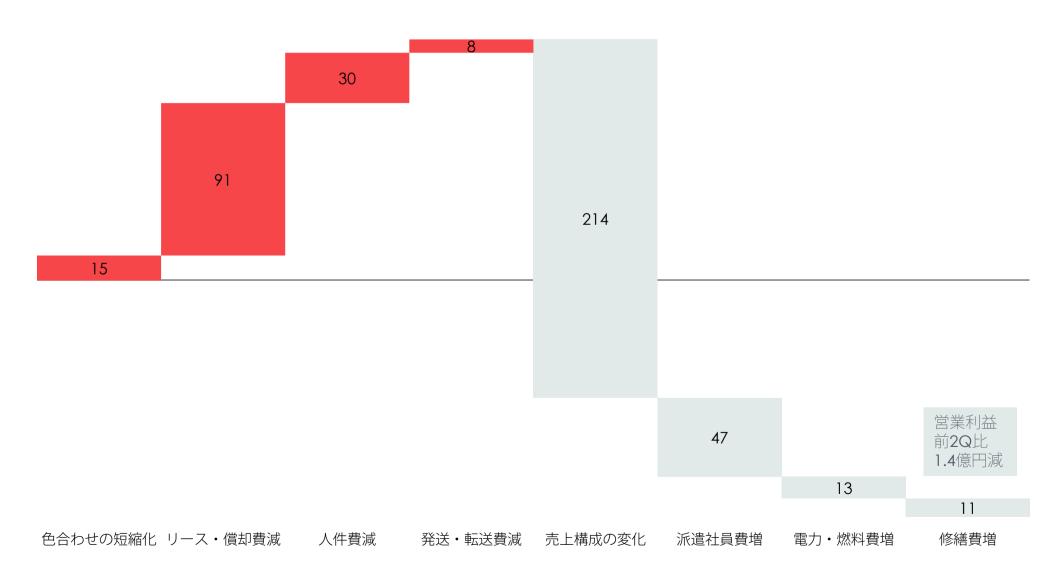


媒体別 2Q連結売上高の増減





03 2Q連結営業利益の増減

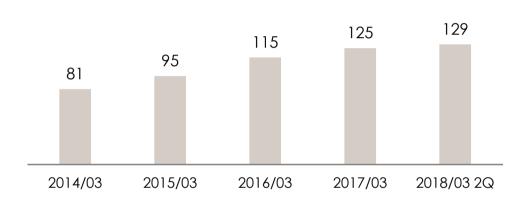




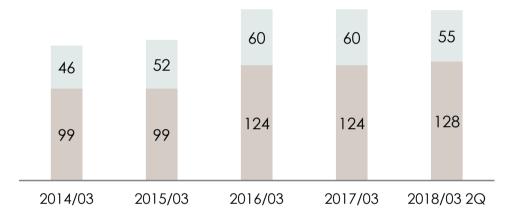
資金計画

資金計画

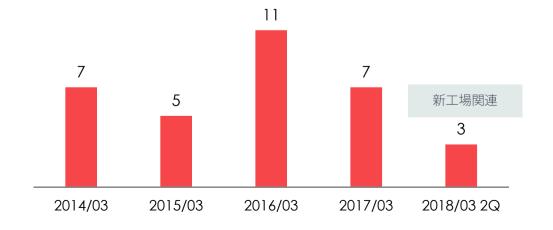
■現預金(億円)



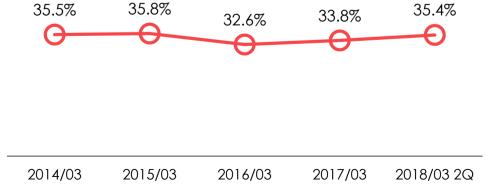
■借入金 ■リース債務(億円)



■設備投資額 (億円)



○自己資本比率(%)

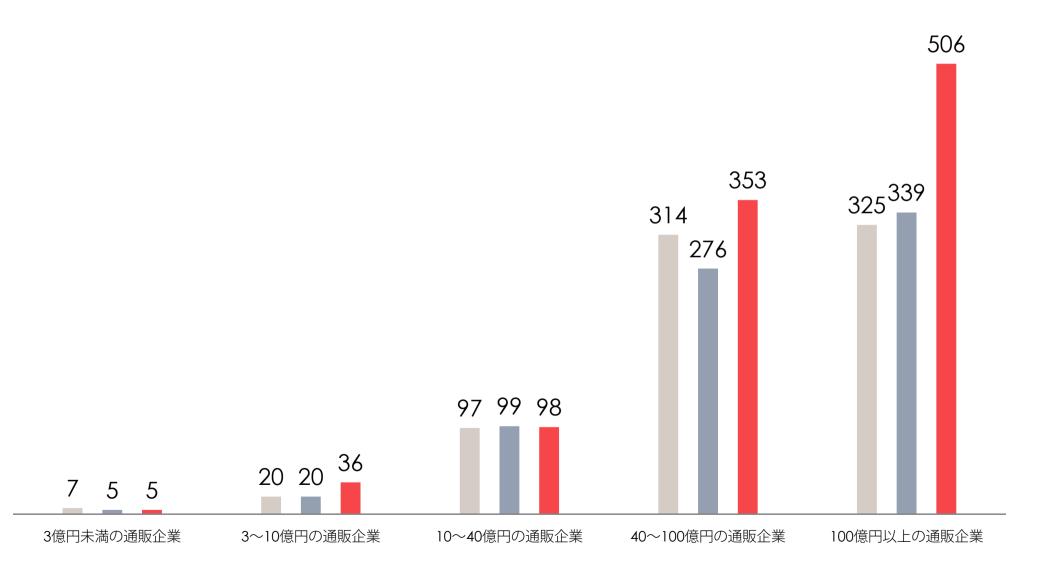




通信販売市場

市場の動向

売上高100億円以上の通販企業で、DMの年間発行部数の平均が上昇しています。 ECサイトにシフトしている環境下でも、通販大手企業の大口ットDMには一定の需要が見込まれます。



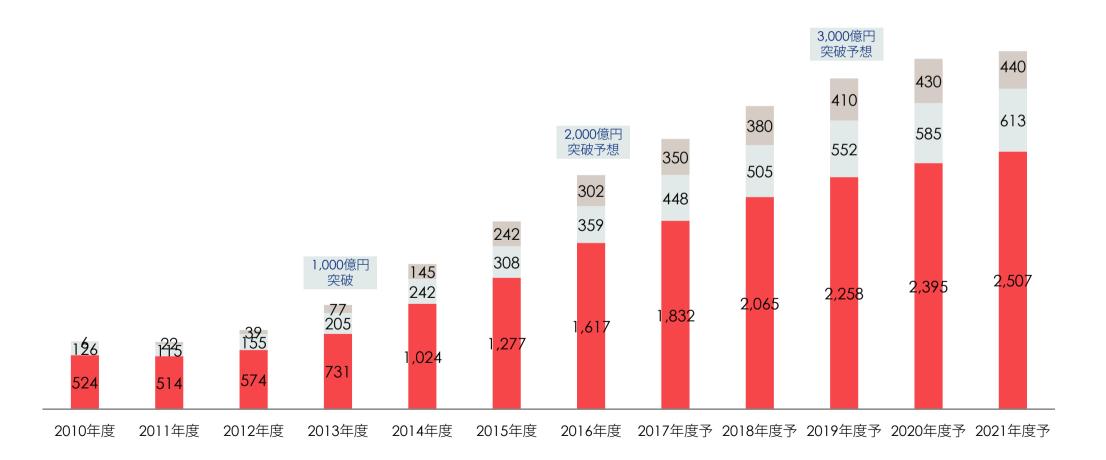


電子書籍市場

市場の動向

電子書籍市場は2016年度に2,000億円、2019年度に3,000億円を突破予想。市場拡大は7割を占める電子コミックが牽引し、人気作品電子化によるコンテンツの充実・サービスの充実が進んでいます。

■電子コミック ■その他電子書籍(文字もの等) ■電子雑誌(億円)





ワンストップラインの確立

経営戦略

今後も厳しい経営環境が継続する中、設備の充実を図りながら、新しい媒体への挑戦、印刷品質の追求、 生産性・効率の向上に努め、顧客満足の徹底を実現します。

印刷

- 輪転印刷
- 枚葉印刷
- デジタル印 刷

製本

- 無線綴じ
- 中綴じ

加工

- 断裁
- 折り加工
- 表面加工:抜き/ミシン/貼り

物流準備

- ・ラッピング
- 封入封緘
- 印字
- 圧着
- メーラー加T

物流

• 発送



オペレーションの強化

経営戦略

ベースの浸透した輪転分野では次なる壁を突破するため、さらにオペレーションを強化し、差別化を図ります。 加工工程では輪転のノウハウを基盤にし、数年をかけ数値的根拠に基づく作業標準の確立に努めます。

輪転

・作業標準の浸透 →さらなる改善に挑戦

周辺作業専門の人員を配置し、切替時間の短縮へ稼動阻害要因の解消(版移動時の版キズ予防)

製本

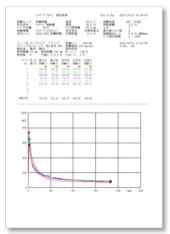
・生産実績の個別管理で、生産目標の再構築

客観的承認制度(工程品質管理課) 効率、品質向上に関する小集団QC活動

加工

・品質の安定化

材料試験機による、数値的な品質検査 機械カルテで停止要因の除去



糊の均一度等のサンプル検査 でユーザビリティを数値管理 し、製品品質を統一



各機のゆるみ・ズレ、部品の 劣化を機械カルテにまとめ、 新品の状態を保つ



06 重点強化策

経営戦略

重点強化策

・集客力のある「売れるDM」提案

販売向上効果をお客様と共有して更なる媒体効果を上げる 目的やターゲットに応じ、物流までのトータルコストを考慮した媒体提案









グループシナジー

経営戦略

出版印刷を行う暁印刷は、「自社レーベルの電子コミック制作、書籍電子化、配信取次」において、多数電子フォーマット対応、カラーリング技術向上により成長を見込みます。西川印刷は生産面でシナジー効果を発揮します。

出版印刷+電子書籍の、株式会社暁印刷





商業印刷+DMの、株式会社西川印刷





九州地区の拠点となる、株式会社西川印刷の植木工場



業績予想

業績予想

厳しい経営環境は継続しますが、取り組みを継続し増収増益をめざします。 引き続き生産性向上及び市場ニーズに対応する設備更新に取り組み、受注拡大と利益確保をめざします。

	2017/03(実績)	利益率	2018/03(予想)	利益率	前期比増減	増減率
売上高	485 .6億円		505.0億円		+19 _{.3億円}	4.0%
売上総利益	68 .0億円	14.0%	71 .2億円	14.1%	+3 .1億円	4.6%
営業利益	23 .5億円	4.9%	24 .0億円	4.8%	十 〇 _{.4億円}	1 .8%
経常利益	20 .9億円	4.3%	22 .4億円	4.4%	十 1 .4億円	6.8%
親会社株主 に帰属する 当期純利益	13 _{.9億円}	2.9%	14 .5億円	2.9%	十 〇.5億円	4.1%



配当予想

業績予想

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な資金を確保しつつ、株主の皆様に安定的な配当を行うことを配当方針としています。配当性向40%前後、配当利回り4%前後を目途にしています。

	2014/03	2015/03	2016/03	2017/03	2018/03(予想)
1株当たり 中間配当金	5 _{円50銭}	5 _{円50銭}	5 円50銭	6 円50銭	6 _{円50銭}
1株当たり 期末配当金	5 _{円50銭}	5 _{円50銭}	6 円50銭	6 円50銭	6 円50銭
1株当たり 年間配当金	一	一	12円00銭	13円00銭	13円00銭
配当性向	49.3%	46.3%	39.8%	45.4%	43.6%
配当利回り	4.1%	3.8%	4.2%	3.9%	



■ 会社概要

商号 共立印刷株式会社 事業内容 総合印刷業 本社所在地 東京都板橋区清水町36-1 営業所 札幌/名古屋/大阪/高松/福岡 従業員数 882名(連結) 資本金 33億3,669万円 上場取引所 東京証券取引所市場第一部7838

■ 役員

代表取締役会長兼 C E O 野田 勝憲 代表取締役社長兼 C O O 倉持 孝 取締役 中井 哲雄 取締役 佐藤 尚哉 社外取締役 藤本 三千夫 社外取締役 亀井 雅彦 常勤社外監査役 川尻 建三 社外監査役 窪川 秀一

■ お問い合わせ

中村 惠一郎

社外監査役

取締役(管理本部長) 佐藤 尚哉 T E L 03-5248-7801 U R L http://www.kyoritsu-printing.co.jp/

